

# 5-1

## ディレクトリ構成を 見てみよう

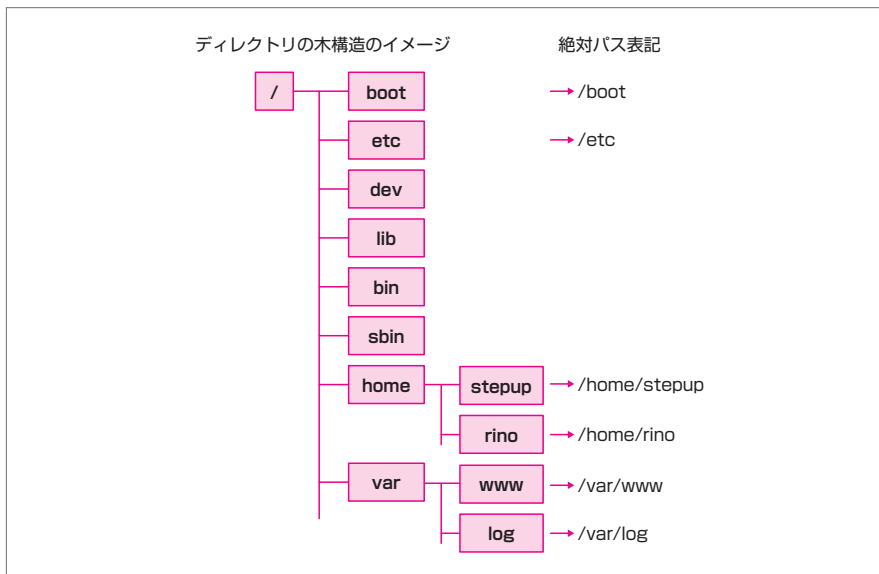
学習の概要

- ・ディレクトリ構成を理解する
- ・よく使うディレクトリを覚える

### 5-1-1 Linux のディレクトリ構成

Linux のディレクトリ構成は、「/」を根っこにして木を上下反対にしたような木構造となっています。この「/」を**ルート**と呼ぶことは **3-2-3** (50 ページ) で説明しました。本 Part では、このディレクトリ構成について詳しく見ていきます。

Linux のディレクトリ構成は、**図 5-01** のような構成になっています。このディレクトリ構成は、FHS という規格に基づいて Linux ディストリビューションごとに決められています。ここでは、普段 Linux を利用する際によく使う、重要なディレクトリについて見ていきましょう。



▲ 図 5-01 Linux システムのディレクトリ構成



参考

Linux の管理者権限を持ったユーザも root (ルート) と呼びますので、混同しないように注意してください。



参考

Ubuntu 以外の Linux ディストリビューションでは、ディレクトリ構成が異なる場合があります。



用語

**FHS (Filesystem Hierarchy Standard)**



参考

tree コマンドをインストールして実行すると、比較的わかりやすい木構造でファイルとディレクトリを表示してくれます。

### 5-1-2 Linux の主なディレクトリ

#### ■ / (ルート)

「/」(**ルート**)は、Linux におけるディレクトリ構成の最上位に位置します。「/」はシステム全体の各ディレクトリを格納するためのトップディレクトリということ覚えておいてください。

#### ■ /boot

**/boot** は、Linux カーネルを起動する際に必要なファイルを配置するディレク